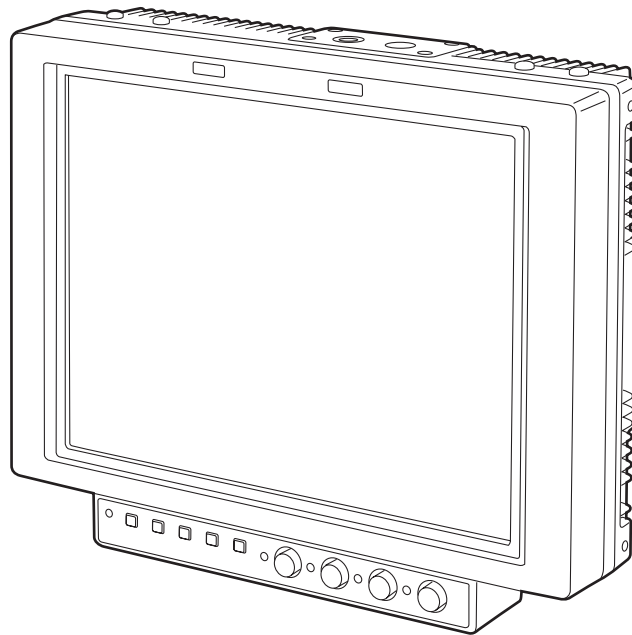


取扱説明書

LCD ビデオモニター

品番 BT-LH900A



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

概要	2	MENU 操作	15
付属品	2	ユーザーデータ	16
別売品	2	MAIN MENU	17
安全上のご注意	3	REMOTE 仕様について	24
使用上の注意	6	エラー/警告表示	29
各部の名称と機能	6	お手入れについて	29
操作部の付け替え	10	保守点検について	29
電源について	11	保証とアフターサービス	30
目隠しビスについて	12	定格	31
オンスクリーン表示について	13		

概要

BT-LH900A は 8.4 型液晶を搭載した、薄型、軽量の放送業務用液晶映像モニターです。
BT-MA900G を使ってラックにマウントしたり、三脚を取り付けたりなど、固定した形でご使用ください。

■ 薄型・軽量、コンパクト、低消費電力、DC 駆動

LCD パネルを使用しているため、薄型・軽量でコンパクトになっています。また HD 対応で消費電力が低く、DC 電源に対応しているので屋外ロケにも使用可能です。

■ マルチフォーマット対応

SDI 入力 (HD/SD 自動切り替え) を 2 系統装備しているほか、コンポーネント入力、コンボジット入力もそれぞれ 1 系統ずつ装備しています。

■ 広視野角

上下左右各 170° の角度範囲で、良好な画像を表示可能です。

■ 高細密な画像

画面の画素数は 1024 × 768 ドット (XGA) で高い色再現性と階調を実現しています。

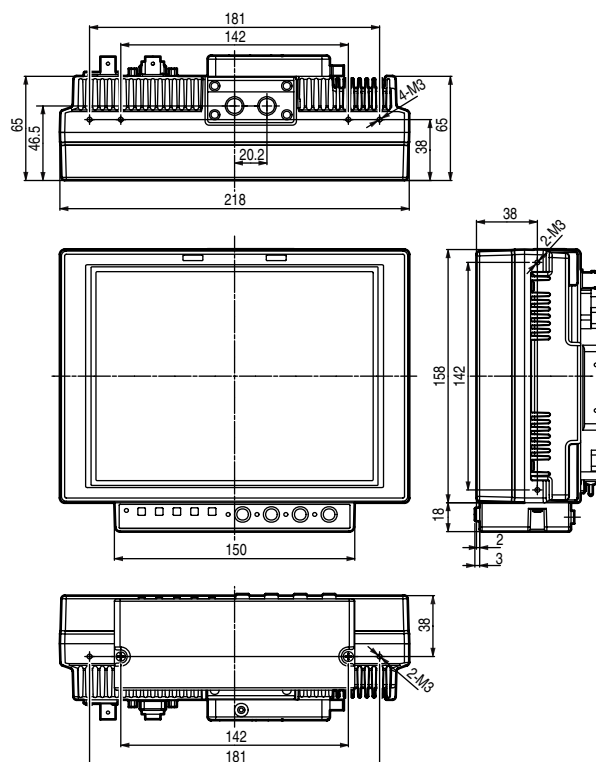
■ 機能

操作部を本体底面または右側に付け替えることが可能で、モニター仕様、ビューファインダー仕様などの用途に対応しています。

- フィルムガンマ補正機能を搭載し、AJ-HDC27 シリーズ用ビューファインダーとして対応 (詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください)。
- ウェーブフォームモニター機能搭載。
- マーカー機能、ブルーオンリー機能搭載。
- RS-232C 外部制御、GPI 端子による外部リモートが可能。

■ 寸法図

単位: mm



付属品

バッテリー取り付け金具

別売品




ラックマウントアダプター: BT-MA900G
(取り付け方法は、BT-MA900G の説明書をご覧ください。)

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

充電するときは、必ずバッテリーパックメーカー指定の充電器を使用する



指定外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。

適合外のバッテリーパックを使用しない

火中に投入したり、加熱したりしない

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解したりしない

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

バッテリーパックの端子部（＋・－）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

表示された電源電圧以外は使用しない



禁止

火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない















ぬれ手禁止

感電の原因になります。

次ページにつづく

警告 (つづき)

<p>電源プラグは、根元まで確実に差し込む</p> <p> 火災や感電の原因になります。傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>	<p>不安定な場所に置かない</p> <p> 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 禁止</p>	<p>電源コードや接続コードが破損するようなことはしない</p> <p>(傷を付けたり、加工したりしないでください。 高温部や熱器具に近づけないでください。 無理に曲げたり、ねじったりしないでください。 引っ張ったり、束ねたりしないでください。 ケーブルの上に重いものを載せないでください。)</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
<p>煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）やバッテリーを外す</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>●お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</p>	<p>本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）やバッテリーを外す</p> <p> そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>●お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</p>	
<p>外部 DC 電源の電源プラグのほこりは定期的に取り除く</p> <p> プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <p>●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>	<p>雷が鳴り出したら、本機の金属部や外部 DC 電源などの電源プラグに触れない</p> <p> 落雷すると、感電につながります。 接触禁止</p>	<p>機器が濡れたり、水などの液体や異物が入らないようにする</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p>
<p>本機を分解・改造しない</p> <p> 火災や感電の原因になります。また使用機器を損傷することがあります。点検や修理はお買い上げの販売店にご相談ください。 分解禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超えて使用しない</p> <p> たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 禁止</p>	<p>乗り物を運転しながら使わない</p> <p> 事故の誘発につながります。 禁止</p> <p>●歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p>
<p>適合外の外部 DC 電源は使用しない</p> <p> 適合外の外部 DC 電源を使用すると、火災の原因になります。 禁止</p>		

⚠ 注意

<p>コードを下にたらない</p> <p> 触れたり、引っ掛けたりすると、落ちてけがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>長時間使用しないときは、バッテリーを外す</p> <p> 火災の原因になります。</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p>
<p>本機の上に重い物を置かない</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所で、三脚を使わない</p> <p> 倒れると、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>風通しの悪い状態で使用しない</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> • テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。
<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）やバッテリーを外す</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>プラグやコネクタを抜くときは、コードを引っ張らない</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。
<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。</p>	<p>使用時は、安定した場所と、十分な体勢を確保する</p> <p> けがや事故の原因になります。</p>	<p>飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う</p> <p> 本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

使用上の注意

この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持った方が操作してください。

- 液晶部は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯（赤、青、緑）するものがあります。これは故障ではありません。
- 液晶保護パネルは特殊加工をしております。固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像（焼き付き）が発生する場合があります。（なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。）
- 液晶の応答速度や輝度は環境温度によって変化します。
- 狭いところで使用すると、内部に熱がこもり正常に機能なくなる場合があります。設置するときは、まわりに十分な空間を取ってください。

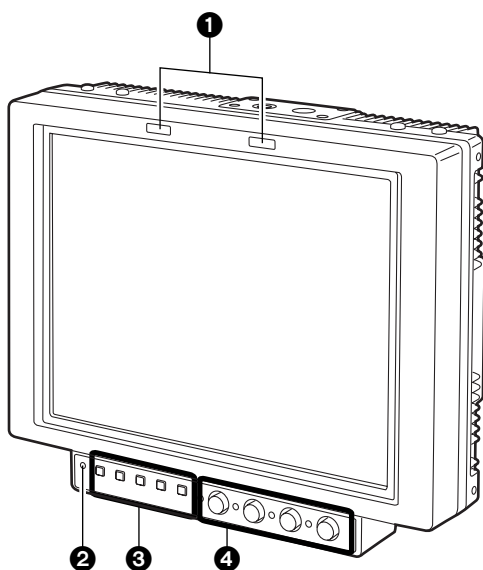
ご不要になった充電式電池はリサイクルへ



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクルにご協力ください。

各部の名称と機能



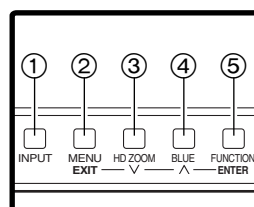
① タリーランプ

イラスト左側がRタリー（赤色）、右側がGタリー（緑色）です。
GPIのON/OFF動作に従い、各タリーを点灯させることができます。
<ノート>
屋外使用時、タリーが点灯しているのが、見えにくい場合があります。

②～④の部分は操作部としてモニター本体から分離し、本体底面、または右側面に取り付けることができます。

② 電源LED

電源LEDです。電源ON時に緑色に点灯します。



③ 操作ボタン

① INPUT ボタン

信号の入力切り替えボタンです。押すたびに入力チャンネルをSDI 1 → SDI 2 → VIDEO → YPbPr/RGBの順に切り替えることができます。ただしINPUTのメニュー設定により、使用しないチャンネルをとばすことができます。

② MENU/EXIT ボタン

メニューの表示用ボタンです。メニューが表示されているときに押すと、メニュー表示のOFF、または1階層上のメニューに戻ります。また設定変更中にボタンを押すと、変更前の設定値に戻し、1階層上のメニューに戻ります。

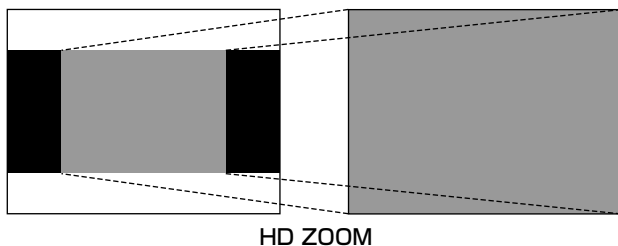
各部の名称と機能（つづき）

③ HD ZOOM/∨ ボタン

メニューの表示時にはカーソルの移動、または設定値の変更をします。

またメニュー表示をしていないときは、HD ZOOM 機能の ON/OFF を行います。ボタンを押すと HD 信号による 16 : 9 の映像を、両端をカットして 4 : 3 で画面全体に表示します。もう一度押すと元に戻ります。

なお SD 信号の映像が表示されている場合は、無効になります。



④ BLUE/∧ ボタン

メニューの表示時にはカーソルの移動、または設定値の変更をします。

またメニュー表示をしていないときは、ブルーオンリー機能の ON/OFF を行います。ブルーオンリー機能が ON になると、RGB のうち BLUE 成分のみが表示されます。

⑤ FUNCTION/ENTER ボタン

メニューの表示時には変更項目の決定、設定値の決定をします。

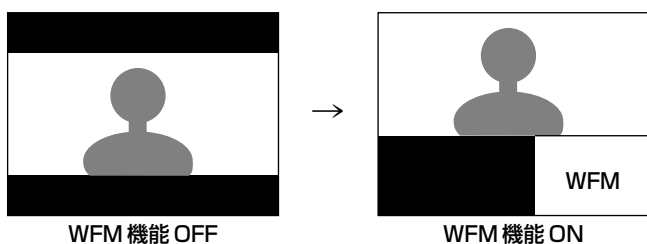
またメニュー表示をしていないときは、メニューの FUNCTION 項目の選択によってその機能が変わります。選択は以下の 3 つです。（21 ページ参照）

UNDEF : 機能を割り当てません。

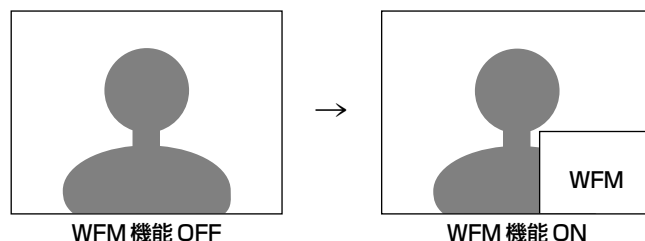
HV DELAY : 映像のブランキングを表示します。ボタンを押すごとに H のブランキング表示 → V のブランキング表示 → H と V のブランキング表示 → ブランキング表示なし、と切り替わります。

WFM ON/OFF : 映像の右下に Y 信号（輝度）の波形を表示します。もう一度押すと表示が消せます。

16 : 9 モード時に波形を表示すると画面に表示された映像は波形表示と重ならないよう、画面上部に移動します。



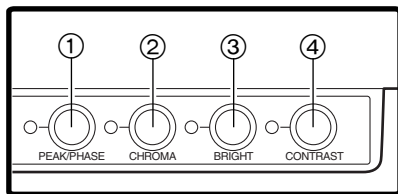
4 : 3 モード時はそのまま表示します。



<ノート>

- この機能を使用するには、SYSTEM CONFIG 画面の FUNCTION 項目で WFM を選び、さらに WFM 項目で FUNCTION を選択する必要があります。
- WFM 機能は簡易的なものとなっているため、細かな波形は正確に表示されない場合があります。また入力信号フォーマットや入力機能の違いで、表示の横幅が変わることがあります。

各部の名称と機能（つづき）



④ 画像調整ボリューム

ピーキング/色相、クロマ、輝度、コントラストの調整ボリュームです。ボリュームを押し込むと飛び出し、調整が可能になります。初期値から数値を変更すると、ボリューム横のランプが点灯します。

ここで行った調整はボリュームが飛び出しているときのみに有効で、ボリュームをもう一度押し込んで元の状態にすると、調整した値は初期値に戻ります。

① PEAK/PHASE (PEAKING/PHASE)

ピーキングか色相を調整します。どちらを調整するかはSYSTEM CONFIG 画面の PEAKING/PHASE 項目で設定します。

● PEAKING

本機をビューファインダーとして使用する場合の機能です。

エッジの強調を設定します。0～30の範囲で設定し、数値が大きいほどエッジが強調されます。初期値は0です。

● PHASE

本機をモニターとして使用する場合の機能です。

画面の色相を調整します。0～60の範囲で設定し、初期値は30です。

<ノート>

- ブルーオンリー機能 ON 時は、設定にかかわらず PHASE ボリュームとして動作します。
- RGB 信号入力時は調整できません。

② CHROMA

映像のクロマの調整を行います。0～60の範囲で設定し、初期値は30です。

<ノート>

RGB 信号入力時、MONO 設定 ON 時は調整できません。

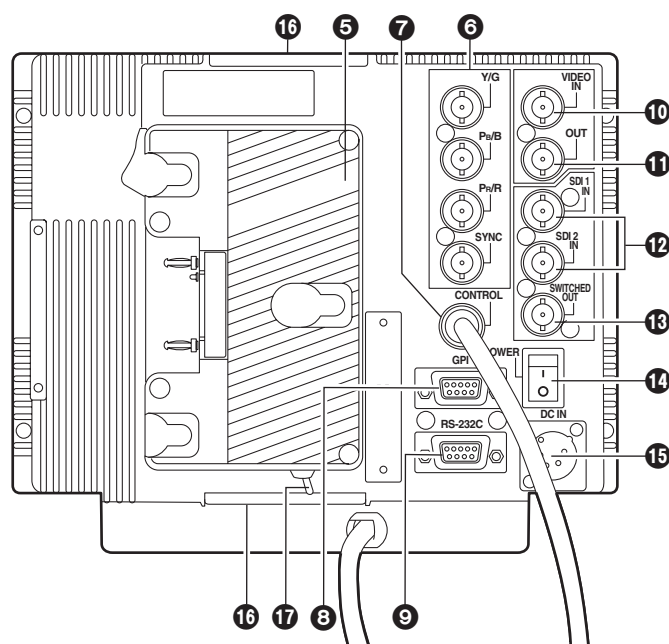
③ BRIGHT

映像の明るさの調整を行います。0～60の範囲で設定し、初期値は30です。

ただしHV DELAY 機能でブランキングを表示しているときは、調整できません。

④ CONTRAST

映像のコントラストの調整を行います。0～60の範囲で設定し、初期値は50です。



⑤ バッテリーホルダー

アントンパワー製のバッテリー用のホルダーです。

⑥ アナログコンポーネント/RGBS 端子

アナログコンポーネント（YPbPr）または RGBS 入力の BNC 端子です。RGB 入力時には外部同期を使用することもできます。

⑦ CONTROL 端子

操作部からのケーブルを接続するための端子です。

<ノート>

出荷時は、ケーブルが端子から外された状態になっています。ご使用前に、端子の形状をよく確認して差し込んでください。

⑧ GPI 端子

GPI 信号により外部操作が可能です。

⑨ RS-232C 端子

RS-232C により外部操作が可能です。

⑩ VIDEO IN 端子

ビデオ入力端子です。

⑪ VIDEO OUT 端子

ビデオ出力端子で、⑩ VIDEO IN 端子のスルーアウトです。

⑫ SDI 入力端子

HD/SD 自動切り替え対応の SDI 入力端子です。

⑬ SDI 出力端子

SDI 出力端子で、⑫ SDI 入力端子のスイッチドアウトです。

SDI1 端子か SDI2 端子に入力されている信号のうち、画面表示されている信号が出力されます。

ただしコンポーネント、VIDEO 入力を選択しているときはスイッチドアウトは出力されません。

本出力を利用し、複数のモニターをデジチェーン接続*する場合、元信号の品質や、ケーブル長、接続台数などによって、画面に乱れやノイズを生じることがあります。

*デジチェーン接続：

機器の入力端子に接続した信号のスルーアウトを、2 台目の機器の入力端子に接続し、そのスルーアウトを 3 台目の機器の入力端子へと順々に接続して、1 つの信号を複数の機器に接続する方法です。

⑭ POWER スイッチ

電源スイッチです。

⑮ DC IN 端子

外部直流電源入力端子です。バッテリーと同時に接続された場合は外部入力優先されます。

⑯ 三脚固定ビス

本体上部と操作部を外した本体下部に、三脚固定用のビス（UNC3/8-16 対応）が各 2 個ずつあります。

また本体下部のビス穴の 1 つには、着脱可能なビススペーサが装着されています。UNC 1/4-20 のビスに対応しています。三脚側の固定ビス径に合わせてお使いください。

⑰ ライトコントロールスイッチ

本機では使用できません。

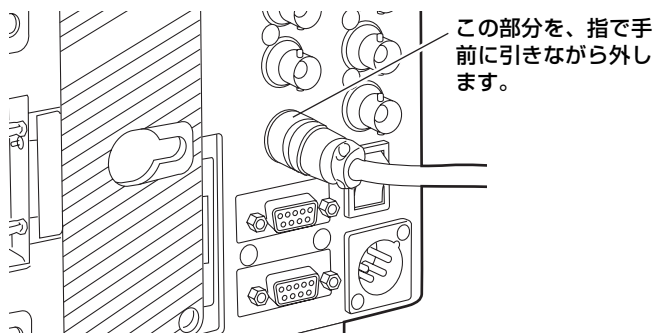
操作部の付け替え

本機はその使用場所、使用方法などに応じて、操作部を下側から右側に付け替えることが可能です。

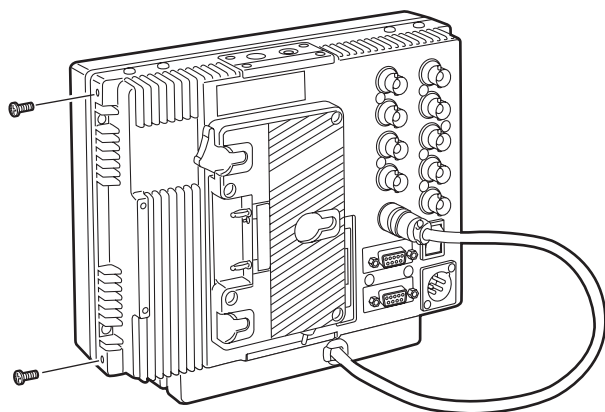
<ノート>

付け替える際には必ず電源を OFF にしてください。

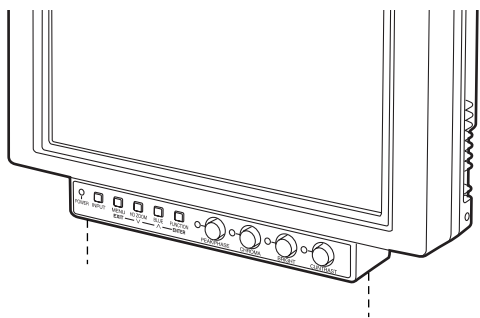
1 操作部から本体に接続されたコードを外します。



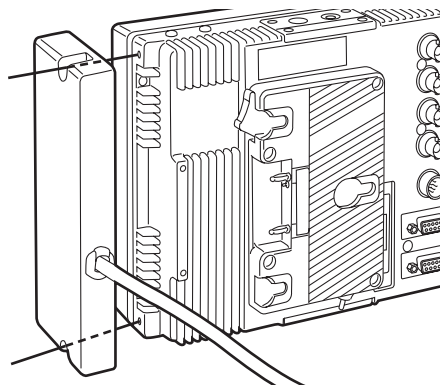
2 本体右側のビスを外します。



3 2本のビスを外し、本体から操作部を外します。このとき2本のビスは操作部から外れません。



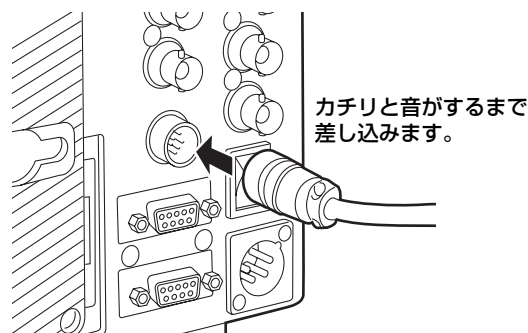
4 2本のビスで操作部を右側に固定します。



5 操作部からのコードを本体に差し込み、固定します。

<ノート>

コードを差し込む角度を間違ったまま強く差し込むと、内部のピンが損傷するおそれがあります。端子の形状をよく確認して差し込んでください。



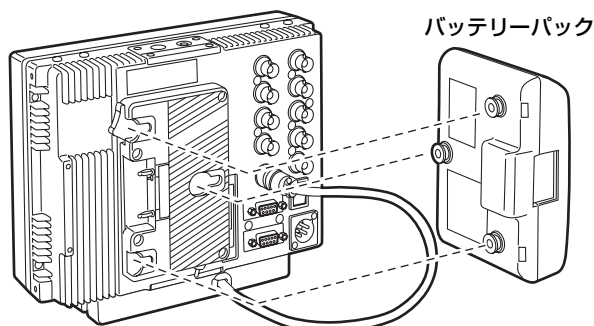
6 2で外したビスを本体下部のビス穴に止めます。

電源について

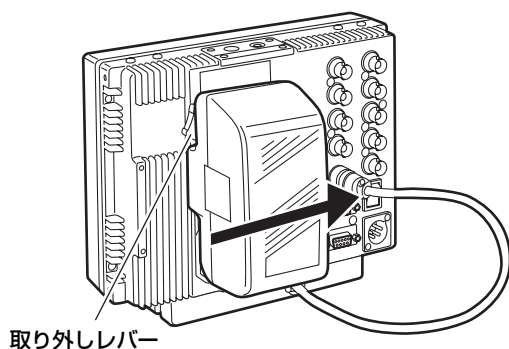
本機はアントンバウアータイプ、V マウントタイプのバッテリーパックや、外部 DC 電源をお使いいただけます。

アントンバウアータイプのバッテリー

- 1 アントンバウアータイプのバッテリーパックを取り付けます。



- 2 差し込んでから、矢印の方向にスライドさせてください。

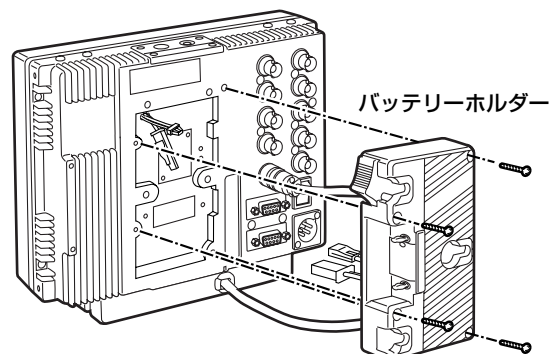


＜ご参考＞ バッテリーパックを取り外すには
バッテリーホルダーの取り外しレバーを完全に下まで倒した
まま、バッテリーパックを取り付け時とは逆の方向にスライ
ドさせてください。

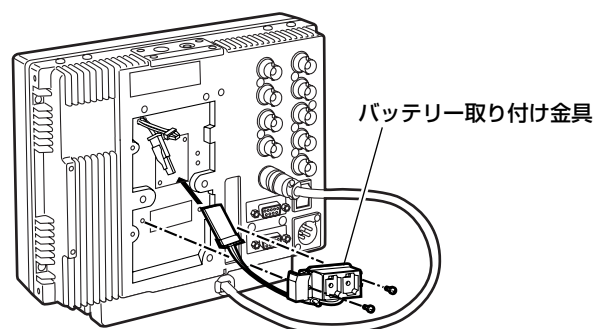
V マウントタイプのバッテリー

バッテリーホルダーを交換する際は、お買い上げの販売店
にご相談ください。

- 1 本機からバッテリーホルダーを外します。

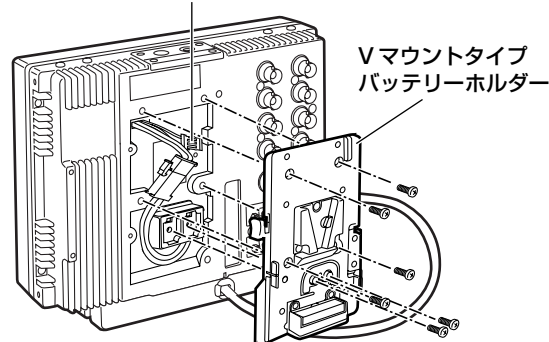


- 2 付属品のバッテリー取り付け金具を取り付けます。



- 3 V マウントタイプバッテリーホルダーをV マウントタイプバッテリーホルダーに同梱されているビス 4 本（長さ 8mm）で止め、さらに端子部のビス 2 本を止めます。

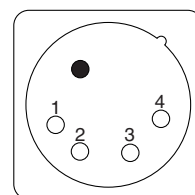
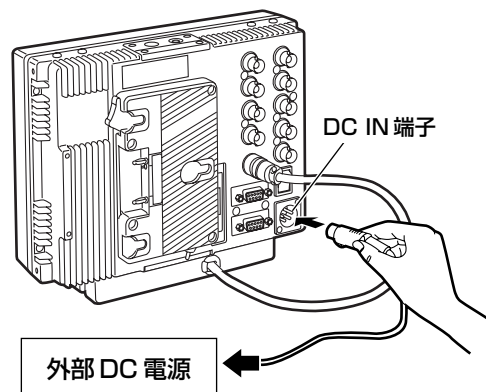
この端子は使用しません



電源について (つづき)

外部 DC 電源の使用

1 本機の DC IN 端子と外部 DC 電源を接続します。



1 : GND
4 : +12 V

DC IN 端子

<ノート>

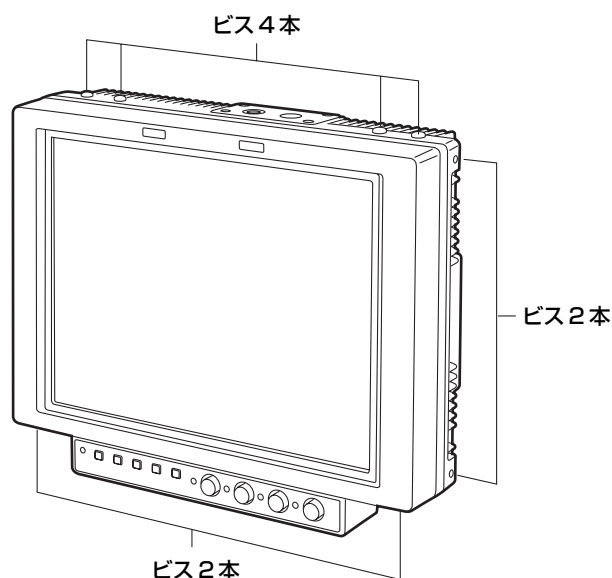
- DC ケーブルは、2m 以内の長さの物を使用してください。2m を超える長さの DC ケーブルを使用すると、画面にノイズが発生することがあります。
- バッテリーパックと外部 DC 電源の両方を接続した場合、外部 DC 電源からの電源供給が優先されます。外部 DC 電源の使用中は、バッテリーの着脱も可能です。
- 外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の電源スイッチを ON にした後、本機の POWER スイッチを ON にしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- 20V 以上の電圧は、バッテリー電圧表示で正確に表示されません。

2 外部 DC 電源の電源スイッチを「ON」にします。
(外部 DC 電源に電源スイッチがある場合)

3 本機の POWER スイッチを「ON」にします。

外部 DC 電源を使用するときは、必ず、外部 DC 電源の定格をご確認の上、本機に適合するものを使用してください。外部 DC 電源の DC 出力端子と本機の DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

目隠しビスについて

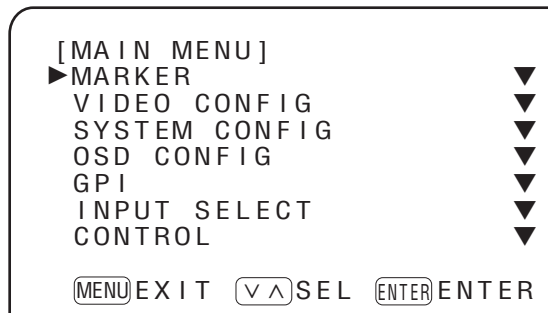


本機は操作部の付け替え（10 ページ参照）などに使用する計 8 本の目隠しビスがあります。これらのビスは内部機器の保護の役割もありますので、ネジ穴にネジが締められていない状態で放置しないでください。また、ビスを使用していないときは必ず保管してください。

オンスクリーン表示

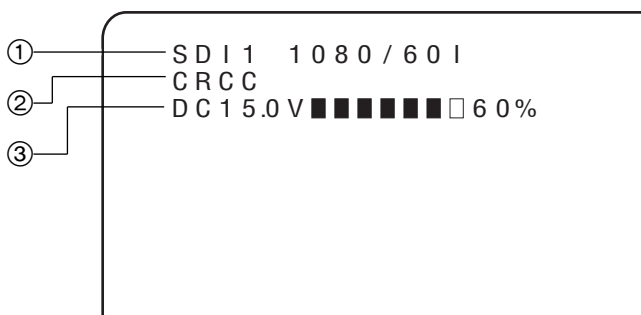
画面上にメニュー、ステータスディスプレイ、画像調整ボリューム、バッテリー電圧の4種類の情報を表示できます。

メニュー表示



MENU/EXIT ボタンを押すと表示されます。そのまま操作しないと、表示は 120 秒後に自動的に OFF になります。
なお表示位置はメニュー設定により変更できます。
メニューの内容については「MAIN MENU」(17 ページ)を参照ください。

ステータスディスプレイ表示



① チャンネル・信号フォーマット

チャンネルは SDI1/SDI2/VIDEO/YPbPr/RGB からそのとき選択されているものが表示されます。
信号フォーマットは、そのとき入力されている信号が表示されます。ただし、サポートされていない信号が入力されている場合は UNSUPPORT SIGNAL と表示されます。
サポートされている信号と、フォーマットの表示については 14 ページを参照ください。

メニュー表示がされていない状態で、以下の条件時に表示されます。

- 入力信号が切り替わったとき
- 入力チャンネルが変わったとき
- 無信号になったとき

表示場所、表示時間はメニュー設定によって変更可能です。
表示中、画像調整ボリュームで画像を調整すると、表示が消え、ボリュームで調整している設定値が表示されます。

② ワーニング表示

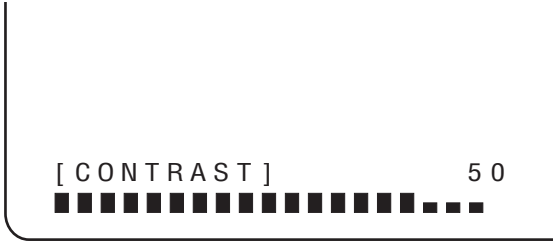
- エラー発生時や、特殊なモード使用中に表示されます。
- CRCC CRCC エラー。SDI 信号にエラーが含まれているときに表示されます。
- ⚠ FILM メニューの VIDEO CONFIG 画面の GAMMA SELECT 項目でフィルムモード (FILM) を選択しているときに表示します。
- 🔑 メニューの CONTROL 画面の CONTROL 項目で、REMOTE を選択しているときに表示します。このときモニター操作部からの操作は無効になります。

③ バッテリー電圧表示

バッテリーの電圧を表示します。お使いのバッテリーがアントンデジタルバッテリーである場合は、電圧と同時にバッテリー残量が ■ の数と % で表示されます。

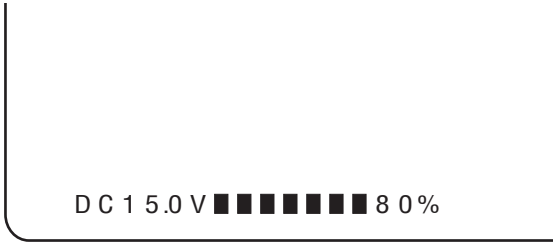
オンスクリーン表示 (つづき)

画像調整ボリューム表示



画像調整ボリュームで調整を行ったときに表示されます。
(8 ページ参照)
ボリュームを押し込んで飛び出したとき、または飛び出した
ボリュームを回して調整をしたときに表示されます。
ボリュームを再び押して元の状態に戻すと表示は消えます。
またボリュームが飛び出た状態でも、10 秒間触れないまま
にしていると表示は消えます。

バッテリー電圧表示



メニューの OSD 画面の BATTERY REMAIN 項目で ON を
選択しているとき、常時表示されます。
バッテリーの電圧を表示します。お使いのバッテリーがアン
トンドigitalバッテリーである場合は、電圧と同時にバッテ
リー残量が ■ の数と%で表示されます。

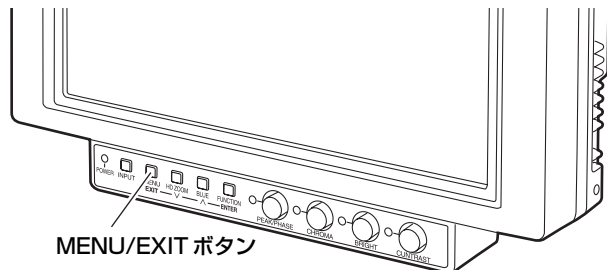
信号フォーマットについて

メニュー設定	入力を受け付ける信号	ステータスディスプレイ表示
AUTO	サポートされている信号すべて	入力されている信号のフォーマットを表示します。
1080/60I	1080/60I	1080/60I
	1080/59.94I	1080/59.94I
1080/50I	1080/50I	1080/50I
1080/30P	1080/30P	1080/30P
	1080/29.97P	1080/29.97P
1080/25P	1080/25P	1080/25P
1080/24P	1080/24P	1080/24P
	1080/23.98P	1080/23.98P
1080/24PsF	1080/24PsF	1080/24PsF
	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF
1035/60I	1035/60I	1035/60I
	1035/59.94I	1035/59.94I
720/60P	720/60P	720/60P
	720/59.94P	720/59.94P
720/60P ANAMO	720/60P	720/60P
	720/59.94P	720/59.94P
720/50P	720/50P	720/50P
576/50I	576/50I	576/50I
480/60P	480/59.94P	480/60P
480/60I	480/59.94I	480/60I
NTSC	NTSC	NTSC
PAL	PAL	PAL

MENU 操作

メニュー操作

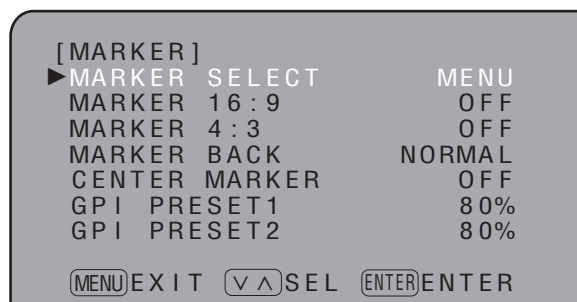
- 1** MENU/EXIT ボタンを押すとスクリーンにメインメニューが表示されます。



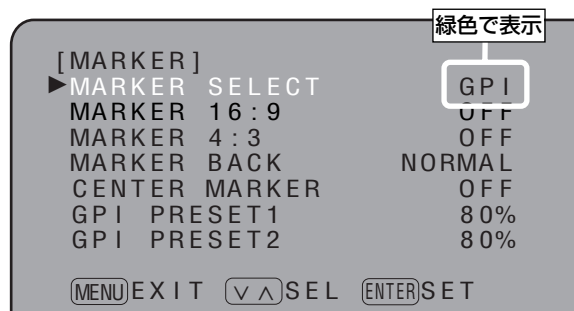
- 2** HD ZOOM/∇ ボタンと BLUE/∧ ボタンでカーソルを移動し、FUNCTION/ENTER ボタンで選択します。



- 3** カーソルを HD ZOOM/∇ ボタンと BLUE/∧ ボタンで変更したい項目に合わせ、FUNCTION/ENTER ボタンを押すと、設定値が緑色に表示されます。



- 4** HD ZOOM/∇ ボタンと BLUE/∧ ボタンで設定値を変更し、FUNCTION/ENTER ボタンを押して確定します。また、このとき MENU/EXIT ボタンを押すと、変更はキャンセルされます。



- 5** MENU/EXIT ボタンを押し、メニュー設定を終了します。

ユーザーデータ

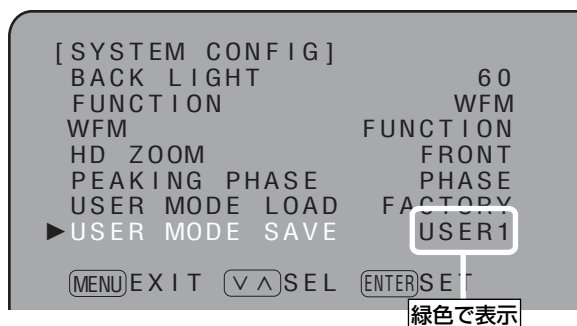
本機は、メニューの設定値や画像調整ボリュームで行った画面の調整値を、ユーザーデータとして5箇所に保存・呼び出しができます。

ユーザーデータとして保存・呼び出しが可能なデータは以下の通りです。

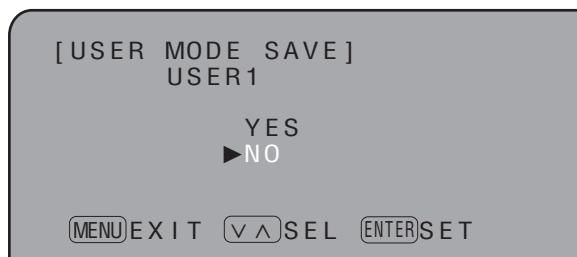
- USER MODE LOAD/SAVE を除くメニュー設定（本機前面のボタンの機能設定を含む）
- 画像調整ボリュームで行った画面の調整値

ユーザーデータの保存

- 1 MENU/EXIT ボタンを押すとスクリーンにメインメニューが表示されます。
- 2 メニュー操作で（15 ページ参照）SYSTEM CONFIG から USER MODE SAVE を選択し、FUNCTION/ENTER ボタンを押すと、設定値が緑色に表示されます。



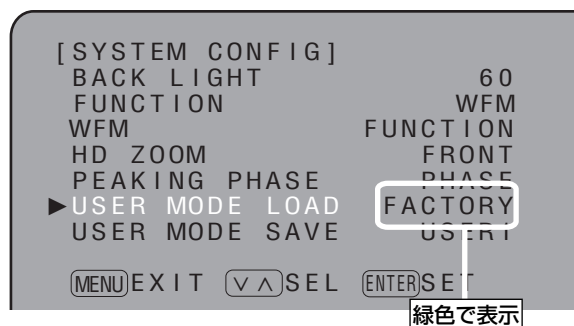
- 3 USER1 ~ 5 から SAVE するファイルを選択して FUNCTION/ENTER ボタンを押すと、下図の画面が表示されます。



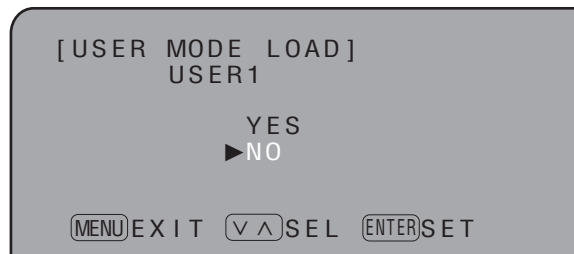
- 4 カーソルを YES に合わせ、FUNCTION/ENTER ボタンを押します。

ユーザーデータの呼び出し

- 1 MENU/EXIT ボタンを押すとスクリーンにメインメニューが表示されます。
- 2 メニュー操作で（15 ページ参照）SYSTEM CONFIG から USER MODE LOAD を選択し、FUNCTION/ENTER ボタンを押すと、設定値が緑色に表示されます。



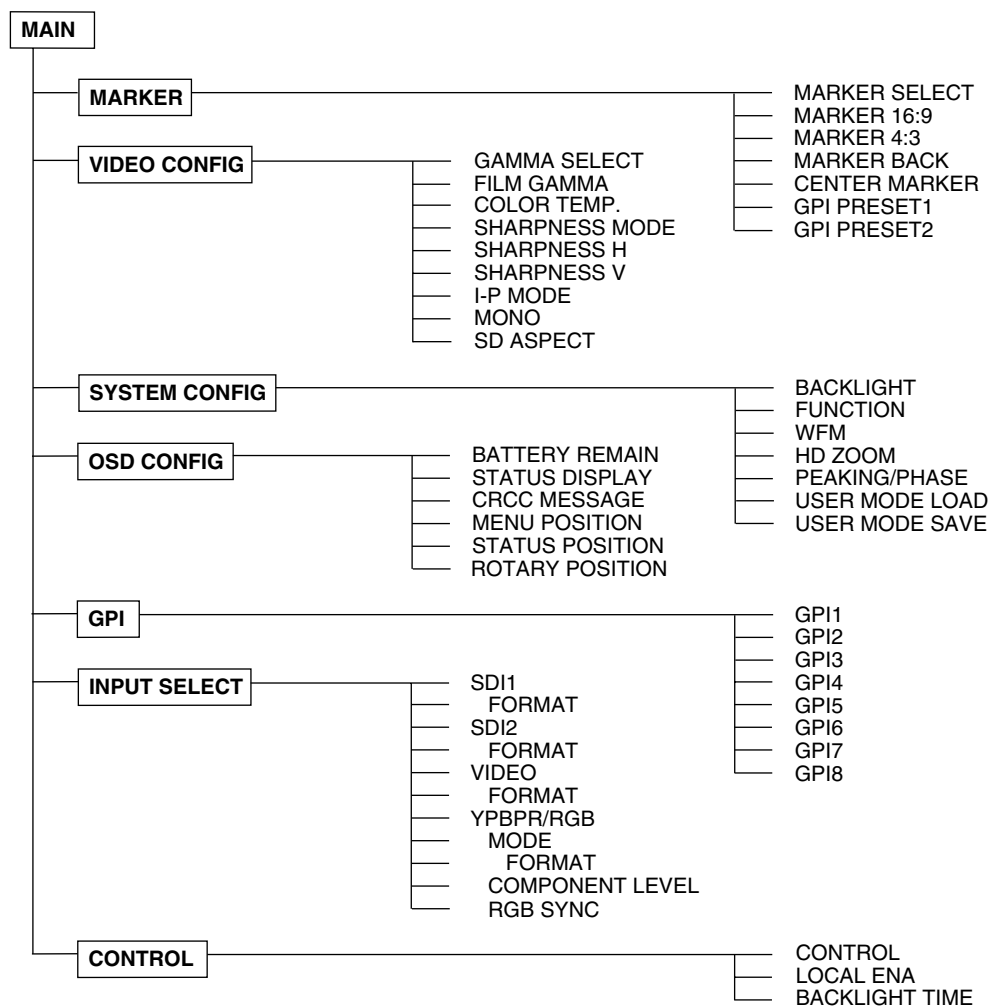
- 3 FACTORY、USER1 ~ 5 から LOAD するファイルを選択して FUNCTION/ENTER ボタンを押すと、下図の画面が表示されます。
このとき FACTORY を選択すると、工場設定に戻すことができます。



- 4 カーソルを YES に合わせ、FUNCTION/ENTER ボタンを押します。

MAIN MENU

メニュー構成



MAIN MENU (つづき)

メニュー項目

MARKER

項 目	設定値	設定内容
MARKER SELECT	<u>MENU</u> GPI	マーカー表示の設定をメニューで行うか、GPI 端子から行うか設定します。 MENU : メニューで操作します。GPI 端子からの操作は無効になります。 GPI : GPI 端子から操作します。メニューでの設定は無効になります。
MARKER 16:9	<u>OFF</u> 4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO 95% 93% 90% 88% 80%	16 : 9 の映像時のマーカーの種類を選択します。 OFF : マーカーを表示しません。 4:3 : 4 : 3 サイズのマーカーを表示します。 13:9 : 13 : 9 サイズのマーカーを表示します。 14:9 : 14 : 9 サイズのマーカーを表示します。 VISTA : ビスタサイズ (1.85 : 1) のマーカーを表示します。 CNSCO : シネマスコープサイズ (2.35 : 1) のマーカーを表示します。 95% : 95 % エリアマーカーを表示します。 93% : 93 % エリアマーカーを表示します。 90% : 90 % エリアマーカーを表示します。 88% : 88 % エリアマーカーを表示します。 80% : 80 % エリアマーカーを表示します。 <ノート> 4 : 3 の映像時は、この項目の設定は反映されません。
MARKER 4:3	<u>OFF</u> 95% 93% 90% 88% 80%	4 : 3 の映像時のマーカーの種類を選択します。 OFF : マーカーを表示しません。 95% : 95 % エリアマーカーを表示します。 93% : 93 % エリアマーカーを表示します。 90% : 90 % エリアマーカーを表示します。 88% : 88 % エリアマーカーを表示します。 80% : 80 % エリアマーカーを表示します。 <ノート> 16 : 9 の映像時は、この項目の設定は反映されません。
MARKER BACK	<u>NORMAL</u> HALF BLACK	マーカーの背景輝度を設定します。 NORMAL : 通常の背景 HALF : 背景輝度が 50 % BLACK : 背景輝度が 0 % <ノート> MARKER 16:9 項目で 4:3/13:9/14:9 のいずれかが選択されているときのみに、設定が有効になります。

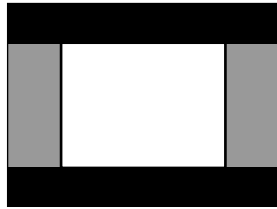
項 目	設定値	設定内容
CENTER MARKER	<u>OFF</u> ON	センターマーカーの表示の有無を選択します。 OFF : 表示しません。 ON : 表示します。
GPI PRESET1	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO 95% 93% 90% 88% <u>80%</u>	GPI 画面で、いずれかの項目に MARKER1 ON/OFF を割り当て、さらに MARKER SELECT 項目で GPI を選択した場合、そのピンが ON になったときに表示するマーカーを設定します。 くわしくは「REMOTE 仕様について」(24 ページ) を参照してください。 4:3 : 4 : 3 サイズのマーカーを表示します。 13:9 : 13 : 9 サイズのマーカーを表示します。 14:9 : 14 : 9 サイズのマーカーを表示します。 VISTA : ビスタサイズ (1.85 : 1) のマーカーを表示します。 CNSCO : シネマスコープサイズ (2.35 : 1) のマーカーを表示します。 95% : 95 % エリアマーカーを表示します。 93% : 93 % エリアマーカーを表示します。 90% : 90 % エリアマーカーを表示します。 88% : 88 % エリアマーカーを表示します。 80% : 80 % エリアマーカーを表示します。
GPI PRESET2	4:3 13:9 14:9 VISTA CNSCO 95% 93% 90% 88% <u>80%</u>	GPI 画面で、いずれかの項目に MARKER2 ON/OFF を割り当て、さらに MARKER SELECT 項目で GPI を選択した場合、そのピンが ON になったときに表示するマーカーを設定します。 くわしくは「REMOTE 仕様について」(24 ページ) を参照してください。 4:3 : 4 : 3 サイズのマーカーを表示します。 13:9 : 13 : 9 サイズのマーカーを表示します。 14:9 : 14 : 9 サイズのマーカーを表示します。 VISTA : ビスタサイズ (1.85 : 1) のマーカーを表示します。 CNSCO : シネマスコープサイズ (2.35 : 1) のマーカーを表示します。 95% : 95 % エリアマーカーを表示します。 93% : 93 % エリアマーカーを表示します。 90% : 90 % エリアマーカーを表示します。 88% : 88 % エリアマーカーを表示します。 80% : 80 % エリアマーカーを表示します。

MARKERの種類

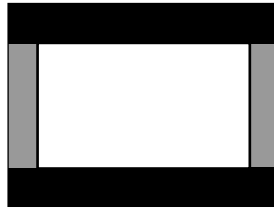
16 : 9用マーカー

(HD時、およびアスペクト 16 : 9のSD時に表示)

マーカーは縦線のみ、表示されます。また、■部が
MARKER BACK 項目の設定対象となります。



4 : 3 マーカー



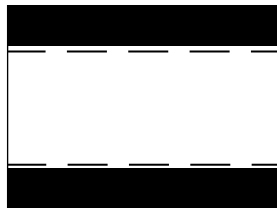
13 : 9 マーカー



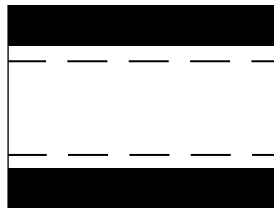
14 : 9 マーカー

VISTA マーカー、CNSCO マーカー

横の点線がマーカーとして表示されます。



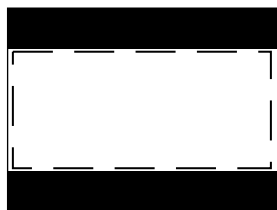
VISTA マーカー



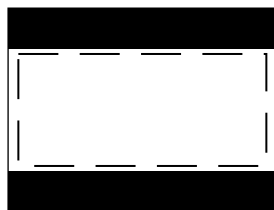
CNSCO マーカー

エリアマーカー

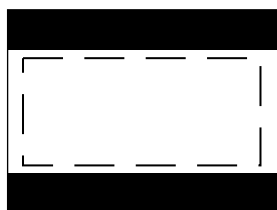
点線がマーカーとして表示されます。



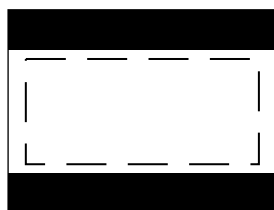
95%エリアマーカー



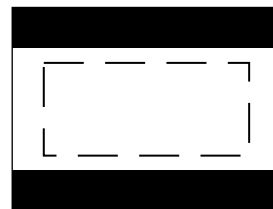
93%エリアマーカー



90%エリアマーカー



88%エリアマーカー

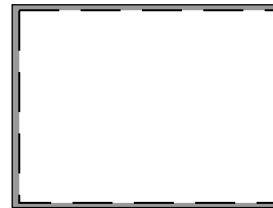


80%エリアマーカー

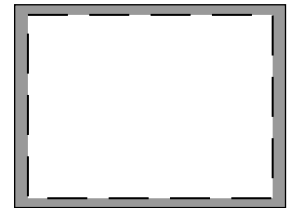
4 : 3用マーカー

(アスペクト 4 : 3のSD時に表示)

点線がマーカーとして表示されます。



95%エリアマーカー



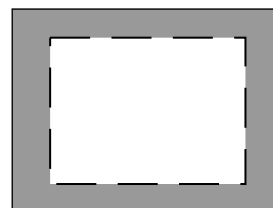
93%エリアマーカー



90%エリアマーカー



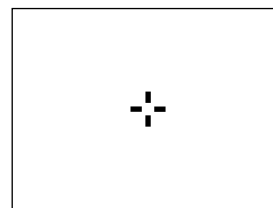
88%エリアマーカー



80%エリアマーカー

センターマーカー

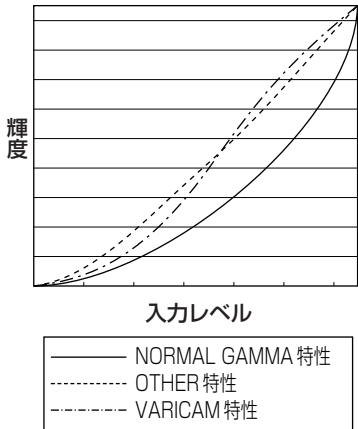
画像の中心に表示されます。



センターマーカー

MAIN MENU (つづき)

VIDEO CONFIG

項 目	設定値	設定内容
GAMMA SELECT	GPI <u>NORMAL</u> FILM	ガンマモードを設定します。 GPI : GPI 設定。くわしくは「REMOTE 仕様について」(24 ページ)を参照してください。 NORMAL : 通常のガンマモード。 FILM : バリカムに対応したフィルムモード。次項の FILM GAMMA 項目で設定を変えることができます。
FILM GAMMA	OTHER <u>VARICAM</u>	GAMMA SELECT 項目の「FILM」の設定を、OTHER と VARICAM から選択することができます。OTHER と VARICAM の違いについては下のガンマカーブの図を参照ください。 
COLOR TEMP.	USER D93 D65 D56	色温度の設定を行います。 USER : 0 ~ 63 の範囲で (色温度 3000 K から 9300 K に相当します) 自由に設定できます。 D93 : 色温度 9300 K に相当します。 D65 : 色温度 6500 K に相当します。 D56 : 色温度 5600 K に相当します。 <ノート> 色温度は各ガンマモード (NORMAL / FILM) に対してそれぞれ設定可能です。
SHARPNESS MODE	HIGH <u>LOW</u>	画像のシャープネスを設定します。 HIGH : 細いエッジで強調します。 LOW : 太いエッジで強調します。 <ノート> シャープネスは VIDEO とそれ以外の入力チャンネルに対して設定可能です。

項 目	設定値	設定内容
SHARPNESS H	0 : <u>2</u> : 30	画像の水平方向のシャープネスを設定します。 この項目は VIDEO 入力信号に対する設定値と、その他の信号に対する設定値と、2つの設定値を記憶させることが可能です。 <ノート> ● この項目が選択中は、OSD 画面の MENU POSI. の設定にかかわらず、この項目のみ左下に表示されます。 ● シャープネスは VIDEO とそれ以外の入力チャンネルに対して設定可能です。
SHARPNESS V	0 : <u>2</u> : 30	画像の垂直方向のシャープネスを設定します。 この項目は VIDEO 入力信号に対する設定値と、その他の信号に対する設定値と、2つの設定値を記憶させることが可能です。 <ノート> ● この項目が選択中は、OSD 画面の MENU POSI. の設定にかかわらず、この項目のみ左下に表示されます。 ● シャープネスは VIDEO とそれ以外の入力チャンネルに対して設定可能です。
I-P MODE	MODE2 <u>MODE1</u>	IP 変換のモードを切り替えます。 MODE2 : 動き補正モード MODE1 : 通常モード <ノート> プログレッシブ信号 (1080/30P、1080/25P、1080/24P、720/60P、720/50P、480/60P) が入力時は設定が無効になります。
MONO	GPI <u>OFF</u> ON	モノクロ映像の選択をします。 GPI : GPI 設定です。詳しくは、「REMOTE 仕様について」(24 ページ)を参照してください。 OFF : 通常映像 ON : モノクロ映像 <ノート> ● RGB 信号入力時、この項目の設定は反映されません。 ● この項目で ON が選択されているときは、画像調整ボリュームの CHROMA 設定は 0 に固定されます。OFF に戻すと CHROMA 設定は ON に変更前の状態に戻ります。
SD ASPECT	GPI 16:9 <u>4:3</u>	SD 信号のアスペクト設定を行います。 GPI : GPI 設定です。くわしくは「REMOTE 仕様について」(24 ページ)を参照してください。 16:9 : 16 : 9 表示 4:3 : 4 : 3 表示

は、工場出荷時の設定モードです。

MAIN MENU (つづき)

SYSTEM CONFIG

項 目	設定値	設定内容
BACKLIGHT	0 : 60	バックライトの明るさを 0 ～ 60 の範囲で調整します。設定値が大きいほど明るくなります。
FUNCTION	WFM ON/OFF HV DELAY UNDEF	FUNCTION/ENTER ボタンに割り当てる機能を設定します。 WFM ON/OFF : Y 信号（輝度）の波形を表示します。 HV DELAY : 映像のブランキング部分を表示します。 UNDEF : 機能を割り当てません。
WFM	FUNCTION GPI	Y 信号（輝度）の波形表示を、FUNCTION/ENTER ボタンで行うか、GPI 端子から行うか選択します。 FUNCTION : FUNCTION/ENTER ボタンで表示します。 GPI : GPI 端子から操作します。くわしくは「REMOTE 仕様について」（24 ページ）を参照してください。
HD ZOOM	FRONT GPI	HD ZOOM 機能の操作を HD ZOOM /v ボタンで行うか、GPI 端子から行うかを選択します。 FRONT : HD ZOOM/v ボタンで操作します。 GPI : GPI 端子から操作します。くわしくは「REMOTE 仕様について」（24 ページ）を参照してください。
PEAKING/ PHASE	PEAKING PHASE	画像調整ボリュームの PEAKING/PHASE の機能を選択します。 PEAKING : PEAKING 機能を割り当てます。 PHASE : PHASE 機能を割り当てます。
USER MODE LOAD	USER5 USER4 USER3 USER2 USER1 FACTORY	保存されているユーザーデータ呼び出します。 USER1-5 : ユーザーが保存したデータ。ユーザーがデータをまだ保存していない場合は FACTORY と同じ設定になります。 FACTORY : 工場出荷設定
USER MODE SAVE	USER5 USER4 USER3 USER2 USER1	ユーザーデータを保存します。

OSD CONFIG

項 目	設定値	設定内容
BATTERY REMAIN	OFF ON	バッテリー残量の表示をするか選択します。 OFF : 表示しません。 ON : 表示します。
STATUS DISPLAY	CONTINUE 3SEC. OFF OFF	ステータスディスプレイの表示時間を設定します。 CONTINUE : 常に表示します。 3SEC. OFF : 3 秒間表示します。 OFF : 表示しません。
CRCC MESSAGE	OFF ON	CRCC エラーを検出したとき、表示するかを選択します。 OFF : 表示しません。 ON : 表示します。
MENU POSITION	LT CENTER LB RB RT	メニューの表示位置を設定します。 LT : 左上に表示します。 CENTER : 中央に表示します。 LB : 左下に表示します。 RB : 右下に表示します。 RT : 右上に表示します。
STATUS POSITION	LT CENTER LB RB RT	ステータスディスプレイの表示位置を設定します。 LT : 左上に表示します。 CENTER : 中央に表示します。 LB : 左下に表示します。 RB : 右下に表示します。 RT : 右上に表示します。
ROTARY POSITION	LB CB RB RT LT CENTER OFF	画像調整ボリュームで画像を調整したときの設定値の表示位置を設定します。 LB : 左下に表示します。 CB : 中央下に表示します。 RB : 右下に表示します。 RT : 右上に表示します。 LT : 左上に表示します。 CENTER : 中央に表示します。 OFF : 表示しません。

GPI

項 目	設定値	設定内容
GPI1-8	UNDEF MARKER1 ON/OFF MARKER2 ON/OFF MARKER BACK HALF MARKER BACK BLACK CENTER MARKER INPUT SEL. SDI1 INPUT SEL. SDI2 INPUT SEL. VIDEO INPUT SEL. YPBPR/RGB SD ASPECT HD ZOOM BACKLIGHT MIN. R.TALLY G.TALLY MONO ON/OFF GAMMA SELECT WFM ON/OFF	GPI 信号を使って REMOTE 動作をするとき、任意の端子に任意の機能を割り当てます。くわしくは「REMOTE 仕様について」（24 ページ）を参照ください。

_____ は、工場出荷時の設定モードです。

MAIN MENU (つづき)

INPUT SELECT

項 目	設定値	設定内容
SDI1 *1	OFF <u>ON</u>	INPUT ボタンでチャンネル切り換えを行うとき、SDI1 を選択できるかどうかを設定します。 OFF : 選択できません。 ON : 選択できます。
FORMAT	AUTO 1080/60I 1080/50I 1080/30P 1080/25P 1080/24P 1080/24PsF 1035/60I 720/60P 720/60P ANAMO 720/50P 576/50I 480/60I	SDI1 で入力を受け付ける信号を選択します。 AUTO : 対応する信号をすべて受け付けます。 1080/60I : 1080/60I または 1080/59.94I を受け付けます。 1080/50I : 1080/50I を受け付けます。 1080/30P : 1080/30P または 1080/29.97P を受け付けます。 1080/25P : 1080/25P を受け付けます。 1080/24P : 1080/24P または 1080/23.98P を受け付けます。 1080/24PsF : 1080/24PsF または 1080/23.98PsF を受け付けます。 1035/60I : 1035/60I または 1035/59.94I を受け付けます。 720/60P : 720/60P または 720/59.94P を受け付けます。 720/60P ANAMO : アナモフィックレンズに対応した 720/60P または 720/59.94P の信号を受け付けます。 720/50P : 720/50P を受け付けます。 576/50I : 576/50I を受け付けます。 480/60I : 480/59.94I を受け付けます。

項 目	設定値	設定内容
SDI2 *1	OFF <u>ON</u>	INPUT ボタンでチャンネル切り換えを行うとき、SDI2 を選択できるかどうかを設定します。 OFF : 選択できません。 ON : 選択できます。
FORMAT	AUTO 1080/60I 1080/50I 1080/30P 1080/25P 1080/24P 1080/24PsF 1035/60I 720/60P 720/60P ANAMO 720/50P 576/50I 480/60I	SDI2 で入力を受け付ける信号を選択します。 選択内容は SDI1 の FORMAT と同じです。
VIDEO *1	OFF <u>ON</u>	INPUT ボタンでチャンネル切り換えを行うとき、VIDEO を選択できるかどうかを設定します。 OFF : 選択できません。 ON : 選択できます。
FORMAT	AUTO NTSC PAL	VIDEO で入力を受け付ける信号を選択します。 AUTO : 対応する信号をすべて受け付けます。 NTSC : NTSC 信号を受け付けます。 PAL : PAL 信号を受け付けます。
YPBPR *1	OFF <u>ON</u>	INPUT ボタンでチャンネル切り換えを行うとき、YPbPr/RGB を選択できるかどうかを設定します。 OFF : 選択できません。 ON : 選択できます。
MODE	YPBPR RGB	アナログ信号の YPbPr/RGB の切り換えを行います。 YPBPR : Y/Pb/Pr 信号に切り替える。 RGB : RGB 信号に切り替える。

*1 これらの項目は同時に 3 つまで OFF に設定することができません。3 つ OFF に設定した時点で、4 番目の項目を OFF に設定することができなくなります。入力すべてを OFF にすることはできません。


は、工場出荷時の設定モードです。

MAIN MENU (つづき)

INPUT SELECT

項 目	設定値	設定内容
FORMAT	AUTO 1080/60I 1080/50I 1080/30P 1080/25P 1080/24P 1080/24PsF 1035/60I 720/60P 720/50P 576/50I 480/60P 480/60I	YPbPr/RGB の各モードで入力を受け付ける信号を選択します。 各モードごとに信号を設定することができ、MODE 項目で YPbPr/RGB を切り替ええると、設定した信号フォーマットを受け付けるように、自動的に切り替わります。 AUTO: 対応する信号をすべて受け付けます。 1080/60I: 1080/60I または 1080/59.94I を受け付けます。 1080/50I: 1080/50I を受け付けます。 1080/30P: 1080/30P または 1080/29.97P を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 1080/25P: 1080/25P を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 1080/24P: 1080/24P または 1080/23.98P を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 1080/24PsF: 1080/24PsF または 1080/23.98PsF を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 1035/60I: 1035/60I または 1035/59.94I を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 720/60P: 720/60P または 720/59.94P を受け付けます。 720/50P: 720/50P を受け付けます。 (YPbPr 選択時のみ有効) 576/50I: 576/50I を受け付けます。 480/60P: 480/60P を受け付けます。 480/60I: 480/59.94I を受け付けます。
COMPONENT LEVEL	SMPTE B75	Y/Pb/Pr 信号の入力レベルを選択する。 SMPTE: MⅡVTR からの出力時に選択します。 B75: ベータカム VTR からの出力時に選択します。
RGB-SYNC	G-ON EXT	同期信号を受け付ける端子を切り替えます。 G-ON: G 信号に同期信号が重畳されている場合、選択します。 EXT: アナログコンポーネント/RGBS 端子の SYNC 端子で受け付けます。

CONTROL

項 目	設定値	設定内容
CONTROL	LOCAL REMOTE	操作設定を行います。 LOCAL: 操作部からの操作のみを可能にし、リモート操作はできません。 REMOTE: リモート操作を可能とし、操作部からの操作は一部を除いて無効になります。 <ノート> ● REMOTE 選択時はステータスディスプレイにロックマーク  が表示されます。 ● REMOTE 選択時、メニュー操作は CONTROL 画面の CONTROL 項目と、LOCALENABLE 項目のみ設定の変更が可能です。
LOCAL ENA	DIS. INPUT	REMOTE 選択時、操作部からの入力切り換えを可能にします。 DIS.: REMOTE 選択時は、操作部からの入力切り換えが無効になります。 INPUT: REMOTE 選択時も、操作部からの入力切り換えが可能です。
BACKLIGHT TIME		バックライトの総稼働時間を表示します。

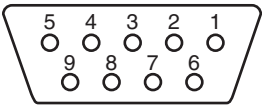
_____ は、工場出荷時の設定モードです。

REMOTE 仕様について

本機は GPI/RS-232C 端子を使って、リモート操作が可能です。
GPI 端子でのリモート制御は、RS-232C 端子でのリモート制御よりも優先されます。
メニュー項目を GPI 端子での制御に設定されている機能は、RS-232C 制御を行っても受け付けません。

GPI 端子

GPI 画面の各項目は、以下の端子に対応しています。メニューの GPI 画面で、機能を各端子に割り当てることができます。(21 ページ参照)
各端子に割り当てられた機能は、GND 端子に対してショート (ON) かオープン (OFF) かで動作します。



端子 (9P)

ピン番号	信号内容
1	GPI1
2	GPI2
3	GPI3
4	GPI4
5	GND
6	GPI5
7	GPI6
8	GPI7
9	GPI8

割り当て機能一覧

各端子に割り当てられる機能は以下の通りです。

機 能 動作条件	内 容
UNDEF	未設定 (割り当て機能なし)
MARKER1 ON/OFF レベル動作	MARKER 画面の GPI PRESET1 項目で設定されたマーカーを表示します。(18 ページ参照) ただし、MARKER 画面の MARKER SELECT 項目が MENU に設定されているときは無効です。 <ノート> MARKER2 と同時に ON になった場合は、MARKER1 が優先されます。
MARKER2 ON/OFF レベル動作	MARKER 画面の GPI PRESET2 項目で設定されたマーカーを表示します。(18 ページ参照) ただし、MARKER 画面の MARKER SELECT 項目が MENU に設定されているときは無効です。
MARKER BACK HALF レベル動作	MARKER 画面の GPI PRESET1 項目を 4:3/13:9/14:9 のいずれかに設定しているとき、背景の輝度を 50% にします。 ただし、MARKER 画面の MARKER SELECT 項目が MENU に設定されているときは無効です。
MARKER BACK BLACK レベル動作	MARKER 画面の GPI PRESET1 項目を 4:3/13:9/14:9 のいずれかに設定しているとき、背景の輝度を 0% にします。 ただし、MARKER 画面の MARKER SELECT 項目が MENU に設定されているときは無効です。 <ノート> MARKER BACK HALF と同時に ON になった場合は、MARKER BACK BLACK が優先されます。

機 能 動作条件	内 容
CENTER MARKER レベル動作	センターマーカーを表示します。 ただし、MARKER 画面の MARKER SELECT 項目が MENU に設定されているときは無効です。 <ノート> ほかのマーカーが表示されている場合は、重畳して表示します。
INPUT SEL. SDI1 エッジ動作	入力チャンネルを SDI1 に切り替えます。 <ノート> FORMAT 画面の SDI1 項目 (22 ページ参照) が OFF になっている場合は、無効になります。
INPUT SEL. SDI2 エッジ動作	入力チャンネルを SDI2 に切り替えます。 <ノート> FORMAT 画面の SDI2 項目 (22 ページ参照) が OFF になっている場合は、無効になります。
INPUT SEL. VIDEO エッジ動作	入力チャンネルを VIDEO に切り替えます。 <ノート> FORMAT 画面の VIDEO 項目 (22 ページ参照) が OFF になっている場合は、無効になります。
INPUT SEL. YPBPR/RGB エッジ動作	入力チャンネルを ANALOG に切り替えます。 <ノート> FORMAT 画面の YPbPr/RGB 項目 (22 ページ参照) が OFF になっている場合は、無効になります。
SD ASPECT レベル動作	SD 映像のアスペクト比を設定する。 ただし、VIDEO CONFIG 画面の SD ASPECT 項目が GPI 以外に設定されているときは無効です。 <ノート> HD 信号時には無効になります。
HD ZOOM レベル動作	HD の ZOOM 動作を行います。(HD ZOOM については 7 ページ参照) <ノート> ●SD 信号時には無効になります。 ●SYSTEM CONFIG 画面の HD ZOOM 項目が FRONT に設定されているときは無効です。
BACKLIGHT MIN. レベル動作	バックライトの輝度を最小にします。 <ノート> BACKLIGHT MIN. を ON 状態にしたまま、SYSTEM CONFIG 画面で BACKLIGHT 項目を変更できます。このとき、いったん BACKLIGHT MIN. を OFF にし、再び ON にすると輝度は最小になります。
R TALLY レベル動作	赤色タリーを点灯させます。
G TALLY レベル動作	緑色タリーを点灯させます。
MONO ON/OFF レベル動作	画像をモノクロにします。 ただし、VIDEO CONFIG 画面の MONO 項目が GPI 以外に設定されているときは無効です。
GAMMA SELECT レベル動作	ガンマを FILM に切り替えます。(20 ページ参照)
WFM ON/OFF レベル動作	Y 信号 (輝度) の波形を表示します。

*動作条件について
レベル動作 : GND に対しショートしている間、動作する。
エッジ動作 : GND に対しオープンからショートになったとき、動作する。
<ノート>
レベル動作する機能を複数の端子に割り当てた場合、いずれかの端子がショートしている間、その機能は動作し続けます。

REMOTE 仕様について (つづき)

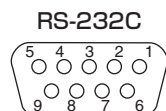
RS-232C 端子

RS-232C 端子のピン配列および接続は、下図および右表を参照ください。

<ノート>

本機 BT-LH900A の RS-232C リモート制御の仕様は、従来の BT-LH900 の仕様と互換性はありません。

BT-LH900A を、BT-LH900 と同じ仕様でリモート制御する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



PC 側		BT-LH900A 側	
ピン番号	信号内容	ピン番号	信号内容
1	N.C.	1	N.C.
2	RXD	2	TXD
3	TXD	3	RXD
4	DTR	4	DSR
5	GND	5	GND
6	DSR	6	DTR
7	RTS	7	CTS
8	CTS	8	RTS
9	N.C.	9	N.C.

RS-232C の REMOTE 制御方法

■ コネクターと信号名

コネクター：D-SUB 9 ピン（メス）

ピン番号	信号名	説明
1	N.C.	未接続
2	TXD	送信データ
3	RXD	受信データ
4	DSR	内部で接続されています。
5	GND	グランド
6	DTR	内部で接続されています。
7	CTS	内部で接続されています。
8	RTS	内部で接続されています。
9	N.C.	未接続

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期式
転送速度	9600 bps
パリティ	なし
データ長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

■ コマンドフォーマット

STX (02h)	コマンド	:	データ	ETX (03h)
-----------	------	---	-----	-----------

- コマンドは、STX に続く 3 文字で、最後に ETX を付加します。
- 必要に応じて、コマンドの後ろに : (コロン) とデータを付加します。

■ 応答フォーマット

1. 設定コマンド応答

STX (02h)	コマンド	ETX (03h)
-----------	------	-----------

2. 問い合わせコマンド応答

STX (02h)	データ	ETX (03h)
-----------	-----	-----------

3. エラー応答

STX (02h)	エラーコード	ETX (03h)
-----------	--------	-----------

エラーコード
ER001 : 無効コマンド
ER002 : パラメータエラー

REMOTE 仕様について (つづき)

■ 設定コマンド

No.	コマンド	説明	データ	応答
1	IIS	入力切り替え	0 : SDI1 1 : SDI2 2 : VIDEO 3 : YPbPr/RGB	IIS
2	VPC	画質調整	CON00-60 : コントラスト設定 BRI00-60 : ブライツネス設定 CRO00-60 : クロマ設定 PHA00-60 : フェーズ設定 PEA00-30 : ピーキング設定	VPC
		シャープネス設定	SHP0 : LOW SHP1 : HIGH SHH00-30 : 水平シャープネス設定 SHV00-30 : 垂直シャープネス設定	
3	OBO	ブルーオンリー	0 : OFF 1 : ON	OBO
4	OHZ	HD ズーム	0 : OFF 1 : ON	OHZ
5	OHV	HV ディレイ	0 : OFF 1 : H DELAY 2 : V DELAY 3 : HV DELAY	OHV
6	OWF	波形表示	0 : OFF 1 : ON	OWF
7	OMO	モノクロ設定	1 : OFF 2 : ON	OMO
8	DBR	バッテリー残量表示	0 : OFF 1 : ON	DBR
9	DSD	ステータス表示	0 : CONTINUE 1 : 3SEC OFF 2 : OFF	DSD
10	DCR	CRCCエラー表示	0 : OFF 1 : ON	DCR
11	DSP	ステータス表示位置	0 : 中央 1 : 右上 2 : 左上 3 : 左下 4 : 右下	DSP
12	ISF	フォーマット設定	SDI1 SD100 : AUTO SD101 : 1080/60I SD103 : 1080/50I SD104 : 1080/30P SD106 : 1080/25P SD107 : 1080/24P SD109 : 1080/24PsF SD111 : 1035/60I SD113 : 720/60P SD115 : 720/60P ANAMO SD117 : 576/50I SD119 : 480/60I SD123 : 720/50P SDI2 SD200 : AUTO SD201 : 1080/60I SD203 : 1080/50I SD204 : 1080/30P SD206 : 1080/25P SD207 : 1080/24P SD209 : 1080/24PsF SD211 : 1035/60I SD213 : 720/60P SD215 : 720/60P ANAMO SD217 : 576/50I SD219 : 480/60I SD223 : 720/50P VIDEO VBS00 : AUTO VBS01 : NTSC VBS02 : PAL YPbPr/RGB ANA00 : AUTO ANA01 : 1080/60I ANA03 : 1080/50I ANA04 : 1080/30P* ANA06 : 1080/25P* ANA07 : 1080/24P* ANA09 : 1080/24PsF* ANA11 : 1035/60I* ANA13 : 720/60P ANA17 : 576/50I ANA18 : 480/60P ANA19 : 480/60I ANA23 : 720/50P* (*: 入力モードがRGB のときは、設定することができません。)	ISF
13	ISM	アナログモード	0 : YPbPr 1 : RGB	ISM
14	ICL	コンポーネントレベル	0 : SMPTE 1 : B75	ICL
15	IRF	RGB シンク	0 : G-ON 1 : EXT	IRF

REMOTE 仕様について (つづき)

No.	コマンド	説明	データ	応答
16	DMK	マーカー設定	16 : 9 マーカー MK100 : OFF MK101 : 80% MK102 : 88% MK103 : 93% MK104 : 95% MK105 : 14:9 MK106 : 13:9 MK107 : 4:3 MK108 : 90% MK109 : CNSCO MK110 : VISTA 4 : 3 マーカー MK200 : OFF MK201 : 80% MK202 : 88% MK203 : 93% MK204 : 95% MK208 : 90% マーカー背景 BAK0 : NORMAL BAK1 : HALF BAK2 : BLACK センターマーカー CMK0 : OFF CMK1 : ON	DMK
17	MGM	ガンマ選択	1 : NORMAL 2 : FILM	MGM
18	MFG	フィルムガンマ	0 : OTHER 1 : VARICAM	MFG
19	MCT	色温度設定	00 : D56 01 : D65 02 : D93 10-73 : USER0-63	MCT
20	MIP	IP モード設定	0 : MODE1 1 : MODE2	MIP
21	MAS	SD アスペクト設定	0 : 16:9 1 : 4:3	MAS
22	MCO	リモート設定	0 : LOCAL 1 : REMOTE	MCO
23	MLE	リモート時操作設定	0 : DISENABLE 1 : INPUT	MLE

<ノート>

メニュー画面を表示しているときにコマンドで設定値を変更しても、メニュー画面の表示は更新されません。
MENU/EXIT ボタンを押して、再度メニュー画面を表示すると更新されます。

■ 問い合わせコマンド

No.	コマンド	説明	データ	応答
1	QIS	入力選択		0 : SDI1 1 : SDI2 2 : YPbPr 3 : RGB 4 : VIDEO
2	QPC	画質調整	CON : コントラスト設定値	00-60
			BRI : ブライト設定値	00-60
			CRO : クロマ設定値	00-60
			PHA : フェーズ設定値	00-60
			PEA : ピーキング設定値	00-30
		シャープネス	SHP : シャープネスモード	0 : LOW 1 : HIGH
			SHH : 水平シャープネス値	00-30
			SHV : 垂直シャープネス値	00-30
3	QBO	ブルーオンリー		0 : OFF 1 : ON
4	QZO	HD ズーム		0 : OFF 1 : ON
5	QWF	波形		0 : OFF 1 : ON
6	QMO	モノクロ		1 : OFF 2 : ON ●現在、画面に表示されている映像のモノクロモードを返信します。
7	QMK	マーカー	MAK : エリアマーカー	0 : OFF 1 : 80% 2 : 88% 3 : 93% 4 : 95% 5 : 14:9 6 : 13:9 7 : 4:3 8 : 90% 9 : CNSCO 10 : VISTA
			BAK : 背景	0 : NORMAL 1 : HALF 2 : BLACK
			CMK : センターマーカー	0 : OFF 1 : ON
8	QGM	ガンマ		1 : NORMAL 2 : FILM ●現在、画面に表示されている映像のガンマモードを返信します。
9	QFG	フィルムガンマ		0 : OTHER 1 : VARICAM
10	QCT	色温度		00 : D56 01 : D65 02 : D93 10-73 : USER0-63
11	QIP	IP モード		0 : MODE1 1 : MODE2

REMOTE 仕様について (つづき)

No.	コマンド	説明	データ	応答
12	QAS	アスペクト		0 : 16:9 1 : 4:3 ●現在、画面に表示されている映像のアスペクトモードを返信します。
13	QSF	フォーマット設定	SD1 : SDI1	00 : AUTO 01 : 1080/60I 03 : 1080/50I 04 : 1080/30P 06 : 1080/25P 07 : 1080/24P 09 : 1080/24PsF 11 : 1035/60I 13 : 720/60P 15 : 720/60P ANAMO 17 : 576/50I 19 : 480/60I 23 : 720/50P
			SD2 : SDI2	同上
			VBS : VIDEO	00 : AUTO 01 : NTSC 02 : PAL
			ANA : YPbPr/RGB	00 : AUTO 01 : 1080/60I 03 : 1080/50I 04 : 1080/30P 06 : 1080/25P 07 : 1080/24P 09 : 1080/24PsF 11 : 1035/60I 13 : 720/60P 17 : 576/50I 18 : 480/60P 19 : 480/60I 23 : 720/50P
14	QAN	アナログモード		0 : YPbPr 1 : RGB
15	QSY	RGB シンク		0 : G-ON 1 : EXT
16	QBL	バックライト点灯時間		00000-99999 (時間)
17	QCL	コンポーネントレベル		0 : SMPTE 1 : B75
18	QBA	バッテリー残量		000-100 (%) ●アントンデジタルバッテリー以外のバッテリーを使用しているときは、000 を返信します。
19	QCR	CRCC エラー		0 : NORMAL 1 : ERROR
20	QFR	入力信号フォーマット		01 : 1080/60I 02 : 1080/59I 03 : 1080/50I 04 : 1080/30P 05 : 1080/29P 06 : 1080/25P 07 : 1080/24P 08 : 1080/23P 09 : 1080/24PsF 10 : 1080/23PsF 11 : 1035/60I 12 : 1035/59I 13 : 720/60P 14 : 720/59P 15 : 576/50I (PAL) 16 : 480/60P 17 : 480/60I (NTSC) 23 : 720/50P 00 : 信号無し FF : サポートしていない信号 ●現在、画面に表示されている映像の入力信号フォーマットを返信します。

エラー/警告表示

何らかの原因で本機にエラーなどが起こった場合、画面にエラー/警告表示などを行います。

○ CRCC エラー

● 表示される場合

SDI 信号にエラーが含まれているとき、画面に表示されます。

メニュー表示時はメニュー部に表示されます。それ以外のときはステイタスディスプレイ表示されます。ただし OSD 画面の STATUS DISPLAY 項目で 3SEC OFF または OFF を選択していると、エラーのみ表示されます。また OSD 画面の CRCC MESSAGE 項目で OFF を選択していると、エラーが検出されても表示されません。

● 対策

入力信号や接続状態を確認してください。

○ インバーターエラー

● 表示される場合

バックライトの明るさを制御しているインバーターに異常があった場合、バックライトが OFF になり、すべての画像調整ボリューム横のランプとタリーランプが 1 秒間隔で点滅します。

● 対策

電源を一度 OFF にしてから、再び ON にしてください。それでもエラー表示される場合は、お買い上げの販売店に御相談ください。

○ バッテリー残量低下警告/エラー

● 表示される場合

バッテリー電圧が 10.5 V ~ 11.3 V になった場合

(アントンデジタルバッテリーを使用時は、残量が 10 % 未満になった場合)

→ 画面上にバッテリー残量/電圧が表示され、その表示が点滅します。

バッテリー電圧が 10.5 V 未満になった場合

→ 画面上に赤く END BATTERY と約 3 秒間表示され、電源が OFF になります。

● 対策

十分に充電したバッテリーと交換してください。

お手入れについて

● キャビネットや液晶保護パネル表面の汚れはやわらかい布で軽くふき取ってください

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤にひたした布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になります。

● 本機の清掃にベンジン、シンナーなどを使用しないでください

表面が変色したり、塗装が落ちるおそれがあります。

● スプレー洗剤などを直接かけない

水滴が内部に入ると故障の原因になります。

保守点検について

保守点検はお客様が安心してビデオ機器をご使用いただくために、定期的に適切な保守整備を行い、その機能を常に良好な状態に維持するためのものです。本機の有する機能を末永く、十二分に発揮させるためにも、必ず保守点検を実施していただくようお願い申し上げます。

1. 定期保守サービスの必要性

液晶モニターにはバックライト電源が使用されています。この部品（消耗部品）は時間経過につれて劣化し、性能低下や故障の原因になります。

このため、単に従来の故障発生時に行うアフターサービスにとどまらず、総合的サービス、すなわち機器の性能を正常に維持させ、消耗部品などによる突発的な故障を未然に防ぐため、保守サービスを定期的に行うことが非常に大切であると言えます。

2. メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますので注意してください。

品 名	数量	定期保守点検と時間 (H)
バックライト	1	38000H ごとに交換

保証とアフターサービス

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいた上、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品

当社では、LCD ビデオモニターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、メンテナンス対象部品につきましては、「保守点検について」の項目をご覧ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

◆保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書をご覧ください。

◆保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品 名	LCD ビデオモニター
品 番	BT-LH900A
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定 格

【総合】

電源： DC 12 V (11.0 V ~ 17.0 V)
消費電流： 1.45 A

 は安全項目です。

外形寸法（幅×高さ×奥行き）：

218 mm × 176 mm × 65 mm

（操作部が下に装着された場合）

質量：

2.0 kg（本体のみ）

動作周囲温度：

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度：

10% ~ 85%（非結露）

保存周囲温度：

- 20 °C ~ + 60 °C

【パネル部】

サイズ：

8.4 型

アスペクト比：

4 : 3

画素数：

1024 × 768（XGA）

表示色：

約 1677 万色

視野角：

上下 170 度、左右 170 度

【入力端子】

映像入力：

VIDEO

1 系統、BNC × 2（1 つはスルーアウト付き）

アナログコンポーネント

YPbPr/RGBS1 系統、BNC × 4

SDI

2 系統、BNC × 3

（1 つはスイッチドアウト付き）

GPI：

D-sub 9 ピン

RS-232C：

D-sub 9 ピン

DC 入力：

XLR4 ピン

バッテリーホルダー：

アントンバウアー製バッテリーホルダー

【対応信号フォーマット】

SDI 時フォーマット：

480/59.94I	576/50I
720/60P	720/59.94P
720/50P	1035/60I
1035/59.94I	1080/24PsF
1080/23.98PsF	1080/24P
1080/23.98P	1080/25P
1080/30P	1080/29.97P
1080/50I	1080/60I
1080/59.94I	

RGB 時フォーマット：

480/59.94I	576/50I
480/59.94P	720/60P
720/59.94P	1035/60I
1035/59.94I	1080/50I
1080/60I	1080/59.94I

Y/Pb/Pr 時フォーマット：

480/59.94I	576/50I
480/59.94P	720/60P
720/59.94P	720/50P
1035/60I	1035/59.94I
1080/24PsF	1080/23.98PsF
1080/24P	1080/23.98P
1080/25P	1080/30P
1080/29.97P	1080/50I
1080/60I	1080/59.94I

VIDEO 時フォーマット：

480/59.94I	576/50I
------------	---------

【付属品】

バッテリー取り付け金具

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

